

投資事業評価調書（新規）

部課室名	治山課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	治山課長 打浪 久淳 (船田 穰)	内線	4128 (4132)
------	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業細目	治山事業	事業名	事業区間	総事業費	約5億円
		地域防災対策総合治山事業	柏原町柏原・東奥	内用地補償費	- 億円
所在地			事業採択予定年度	着工予定年度	完成予定年度
氷上郡柏原町柏原・東奥			H15	H15	H18
事業の目的			事業内容		
<p>柏原町中心部の背後にある荒廃危険山地において、山腹崩壊、土砂流出等の山地災害を未然に防止し、住民の生活基盤の整備を図るため、山地災害危険地対策を総合的、集中的に実施する。</p>			治山ダム工	12基 (国50%、県50%)	
			山腹工	1ha (国50%、県50%)	
			森林整備	70ha (国50%、県50%)	
評価視点	評価結果の説明				
(1) 必要性	<p>当該事業地は、柏原町中心部の背後に位置し、町民の生活に潤いを与える自然環境を創り出している。保全対象には、人家約1700戸、県総合庁舎等の官公庁、県立柏原高校、国道等重要な施設が多く含まれている。</p> <p>年間約1万人の参拝客が訪れる八幡神社を取り巻く一帯の山腹は度々崩壊を繰り返しており、最近では平成11年9月の集中豪雨により山腹崩壊が起り、市街地に土砂が流出した。また、周辺の森林は、近年の木材価格低迷等により、手入れがされず荒廃が進んでおり、渓流では、度重なる豪雨により縦横侵食が進み、不安定な土砂礫が堆積している。このまま放置すれば山腹崩壊や土砂流出の危険性がある地区である。</p> <p>このため、住民の安心、安全を目的として、森林の多面的機能を高度に発揮させる防災施設の設置や森林整備等の総合的な危険地対策が必要である。</p> <p>当該事業は、第九次治山事業七箇年計画に基づき、全体計画及び各年度の事業計画を定めて事業実施が計画的に行われるものであり、地元集落からの要望もあって事業実施の必要性は高い。</p>				
(2) 有効性 効率性	<p>当該事業の投資効率は、2.34となっており、高い事業効果が期待できる。</p> <p>また、保安林内で行う事業であり、他事業による施行は困難である。</p> <p>事業施工地の土地所有者の承諾はもちろんのこと地元町の協力も確実である。</p>				
(3) 環境 適合性	<p>事業の実施に当たっては、間伐材を使うなど景観・環境の維持に重点をおいた工法を用いるとともに、防災施設施工地には広葉樹の植栽を計画しており、自然環境の保全とともに緑豊かな生活環境の整備に配慮した事業である。</p>				
(4) 優先性	<p>森林の荒廃や渓流の侵食、土砂の堆積が進んでおり、早急に対策をしなければ、山腹崩壊や土砂流出等の危険性があるため。</p>				